

■鈴木重成 鈴木正三の弟。天草の乱後、初代代官として復興に尽力、抗議の自刃で村民救済、現在もなお慕われる。

すずきしげなり

パレン追放令 1587＝ 三河国東加茂郡盛岡村で、旗本鈴木重次の三男に生まれる。通称は三郎九郎。

秀吉全国統一1590＝ 3歳：

26聖人殉教・1596＝ 9歳：

関ヶ原の戦・1600＝13歳：

徳川家康隠居1605＝18歳：

家康駿府退隠1607＝20歳：

 父に従って、徳川家康に仕え、

大坂冬の陣・1614＝27歳： 4兄弟揃って、翌年にかけての大坂の陣に出陣し、

大坂夏の陣・1615＝28歳： それぞれが功により400石の知行を受ける。

徳川家康没・1616＝29歳：

 後に仏教思想家鈴木正三となる長兄の影響を強く受け、

秀忠娘入内・1620＝33歳： 長兄が出家し、父の遺跡を継ぎ900石を知行、

徳川家光将軍1623＝36歳：

 信濃伐木目付から、

人身売買禁止1626＝39歳： 御納戸頭となって、行政の才を発揮、

・・・・・・ 1628＝41歳： 上方代官となり、直後に起きた洪水災害復旧にも手腕を発揮して、摂津河内の堤奉行も兼任し、

糸割符拡大・1631＝44歳： 河内での大規模な隠し田事件で、伏見奉行小堀遠州が関係者すべての死罪を命じてきた際、婦女子までとは兄正三と協力して減刑を嘆願、誠意を感じた遠州を動かして実現した上、処刑された多数の百姓のため、菩薩像を刻んで故郷の寺に奉納。

徳川秀忠没・1632＝45歳：

島原の乱始・1637＝50歳： *天草・島原の乱が起こると、肥前国原城攻略に鉄砲奉行として老中松平信綱に従い、

島原の乱終・1638＝51歳： 戦功をあげ、戦後、荒廃した島々を詳しく調査して江戸に戻り、新天草領主が富岡城を建設するなどして、島民にさらなる苦しみを与え続けたことから、

寛永飢饉始・1640＝53歳： 天草が天領になると、

家光鎖国完成1641＝54歳： *信綱の推挽で、初代の天草代官となる。まず、死者を供養する塚を築き、

初の高札・・ 1642＝55歳： *禅僧の兄正三にも天草に来てもらい、キリシタンの神仏信仰への転換に努める一方、過去を不問にすべく身上書を焼却処分にする温情を見せて、戦後の荒廃からの復興に尽力、激減した人口を補うべく薩摩藩や肥後国大村藩よりの移民政策を行い、村の分合の整理による行政区画を実施、法令伝達の統一化をはかる。

・・・・・・ 1645＝58歳： この年、兄正三は引揚げる。

御蔭参流行・1650＝63歳：

徳川家光没・1651＝64歳：

 この間、郡総高4万2000石が大き過ぎると確信し、村民を末永く救済しようと年貢減免を求めて、

野郎歌舞伎始1653＝66歳：

*石高半減を建議したがいられず、江戸駿河台の自邸で、抗議の自刃をした。

当局者はその至誠に驚き病死と発表し、直ちに養子重辰(兄正三の子)に跡目相続を許し、6年後年貢半減が実現し、その恩に報いるべく本渡には鈴木神社が建立され、後に兄正三・重辰も祀られる。